

宮城県林業普及活動情報

2022. 1月号 No. 164

もくじ

各地の林業普及活動情報

P 2 ~ 1 0

- 竹資源の6次化に向けた取組支援 (大河原地方振興事務所)
- 「丸森町におけるたけのこの放射性物質低減化対策」の実施 (大河原地方振興事務所)
- みんなの森林づくりプロジェクト推進事業への活動支援 (大河原地方振興事務所)
- せんだい地域いち推し農林水産物応援マルシェの開催 (仙台地方振興事務所)
- 森林経営管理制度の意向調査実施に向けた検討会の開催 (仙台地方振興事務所)
- 大崎市野生たらのめの出荷制限解除支援 (北部地方振興事務所)
- 令和4年度以降に向けた森林経営計画の方針について指導 (北部地方振興事務所)
- 森林環境譲与税を活用した森林整備の早期実施に向けた取組み支援 (北部地方振興事務所)

- 「森林計画業務の適切な運用に向けた打合せ」の実施 (北部地方振興事務所 栗原地域事務所)

- コンテナ苗生産状況の確認 (北部地方振興事務所 栗原地域事務所)
- 栗原産材利用促進等に関する要望活動 (北部地方振興事務所 栗原地域事務所)
- 「林業振興関係行政事務のフォローアップ研修」の実施 (北部地方振興事務所 栗原地域事務所)

- 株式会社山内の社内研修会で講義 (東部地方振興事務所)
- 「週末林業家育成塾」の森優真氏を訪問 (東部地方振興事務所)
- 佐沼中学校キャリアセミナー (東部地方振興事務所 登米地域事務所)
- 森林経営管理制度に関する打合せ (気仙沼地方振興事務所)
- トレーニングメニューのデモンストレーションを支援 (林業技術総合センター)
- みやぎ森林・林業未来創造カレッジ研修先進課題研修(スマート林業・林業DX推進講座)の開催 (林業技術総合センター)
- 令和3年度林業普及指導活動成果発表会の開催 (林業技術総合センター)
- みやぎ森林・林業未来創造カレッジ研修森林ビジネスコース(育林ビジネス講座)の開催 (林業技術総合センター)

竹資源の6次化に向けた取組支援

大河原地方振興事務所

【11日(火)】

今年度継続的に支援している竹林整備に取り組む団体と今後の活動予定地（竹林）の確認、最近の活動状況及び今後の活動予定について情報交換を行いました。

所の指導により、イベント等の告知にSNSを活用したところ「いつもより参加者が増え手応えを感じた。」などの意見が聞かれ、活動の広がりを確認できました。

また、竹ペレットの試作に関する要望があったことから、製作機械の保有事業体を紹介し、試作品を製造することになりました。

今後も、竹資源を活用した商品開発に向け、関係機関と連携し、支援を行っていきます。



【活動予定地確認の様子】

「丸森町におけるたけのこの放射性物質低減化対策」の実施

大河原地方振興事務所

【18日(火)】

丸森町の3地区（旧金山町、旧館矢間村、旧大張村）におけるたけのこの放射性物質低減化対策として、昨年春に50Bq/kgを超過した6竹林について、現地踏査を行うとともに、竹林内へカリウム散布と空間線量の測定を行いました。

また、対象竹林所有者に対し、今後の出荷再開の見込み等について説明しました。

収集したデータについては、今後、説明会等で地元住民に情報提供していきます。



【カリウム散布の様子】

みんなの森林づくりプロジェクト推進事業への活動支援

大河原地方振興事務所

【20日(木), 27日(木)】

今年度の事業が完了する2団体に対し、作業の進捗を確認するとともに、実績報告書の取りまとめや、次年度の整備計画等について指導・助言を行いました。

実施団体の方からは、「今年度の活動を振り返り円滑な作業を行いたい。」との意見が聞かれました。次年度以降も引き続き、計画的かつ安全な作業の実施について指導・助言を行います。



【現地での指導状況】

せんだい地域いち推し農林水産物応援マルシェの開催

仙台地方振興事務所

【14日(金), 28(金)】

新型コロナウイルスの影響を受けた生産者を支援し、管内で生産される農林水産物や加工品等を地域の方々にPRするため、「せんだい地域いち推し農林水産物応援マルシェ」を仙台合同庁舎で開催しました。

販売会には原木しいたけや菌床きくらげ等を生産している生産者3者が出展し、合同庁舎に勤務する職員に加え、地域住民の方も来場し、商品や食べ方等について直接生産者に尋ねたりしていました。また、購入者からは「美味しかった」「きくらげが想像以上の食感で驚いた」等の反響があり、特産物の認知向上や需要拡大に繋げることができました。

販売会は月2回、3月まで開催する予定なので、今後も管内特産物の魅力のPRに努めていきます。



【完売した十符谷のきくらげ】

森林経営管理制度の意向調査実施に向けた検討会の開催

仙台地方振興事務所

【25日(火)】

今年度の意向調査実施を目指す山元町において、意向調査箇所の優先順位を決定するため、事務所と町担当者、森林組合、市町村森林経営管理サポートセンターによる検討会を開催し、町で作成した区域割の妥当性や優先順位を決めるマトリックス表の評価結果について、再検討を行いました。

区域については、当初10地区としていたところ、対象森林のまとまりや面積などから、2地区を追加し12地区とすることとし、また、マトリックス表については、緊急性や路網の整備状況を中心に全ての項目について再評価し直し、新たなマトリックス表の作成を行いました。

今後、評価結果をもとに、町で実施箇所を決定することとなりますが、意向調査の実施に繋がられるよう引き続き支援を行っていきます。



【評価結果について議論する出席者】

大崎市野生たらのめの出荷制限解除支援

北部地方振興事務所

【14日(金)】

平成26年4月25日から出荷制限が指示されていた大崎市産野生たらのめのモニタリング検査結果が良好であるため、出荷制限指示が解除される見込みとなりました。県と大崎市で適正な出荷管理を実施に必要な体制を整備することを目的として生産者説明会の実施や出荷管理の手引き作成について支援しました。また、出荷制限指示の解除後、円滑に生産者登録や出荷前検査を実施するため、生産者と直売所担当者を参集する説明会を実施することとなりました。今後も、春の山菜類出荷シーズンを迎えるに当たり、安全・安心な山の幸の採取・出荷について準備します。



【大崎市との打ち合わせの様子】

令和4年度以降に向けた森林経営計画の方針について指導

北部地方振興事務所

【14日(金)】

令和4年3月31日で森林経営計画が終了する事業体と次期計画の方向性と策定スケジュールを打合せしました。また、林業事業体と受委託契約を結んでいる森林所有者にも同席いただき、次年度以降の実施計画内容を調整しました。その際、計画対象森林周辺の森林所有者も含め、経営計画の策定が検討されたため、施業集約化の推進が図られました。



【経営計画打合せの様子】

森林環境譲与税を活用した森林整備の早期実施に向けた取組み支援

北部地方振興事務所

【26日(水)】

森林経営管理制度を円滑に進めるため、市町と森林組合の実務担当者で組織する作業部会を開催し、取組状況や次年度の事業計画について情報交換を行いました。また、サポートセンターから、森林環境譲与税の用途事業について情報提供があり、意向調査後の効率的な森林整備の進め方や各地域で抱える課題等について意見交換を行いました。

各市町で共通する慢性的なマンパワー不足により、計画通りに進まない状況が報告され、今後は、森林整備の早期実施を目指し、森林所有者との協定締結による間伐を実施するなど、用途事業による森林整備の必要性を共有



【作業部会の様子】

することができました。今後も引き続き森林整備の早期実施に向け支援に取り組めます。

「森林計画業務の適切な運用に向けた打合せ」の実施

北部地方振興事務所 栗原地域事務所

【11日(火)】

栗原市が令和2年度に受理した伐採届出書のうち、転用案件15件について実施状況を現地確認した行ったところ、不実行や区域違い、区域の拡大など、届出内容とは異なる行為が半数を占めたことから、今後の取扱いについて栗原市と検討を行いました。

打合せでは、事務処理マニュアル(林野庁)により必要な行政行為等を確認し、違反行為等の防止に向けて、伐採前・伐採中、伐採後において現地調査を実施し、関係者間で情報共有を行うことなど、森林法の適正な運用の確認や対処方法を確認しました。



【違反行為の防止対策等を検討】

コンテナ苗生産状況の確認

北部地方振興事務所 栗原地域事務所

【21日(金)】

コンテナ苗の冬期の管理状況を確認しました。苗の一部は積雪下にあり、今のところ寒風害などの被害は確認されませんが、風当たりが強い圃場であるため、生産者に雪解け後の乾燥対策などを指導しました。

併せて、今後の生産体制の整備の要望相談があったことから、補助事業の活用を検討するなど、支援を継続する予定です。



【栽培管理状況の確認】

栗原産材利用促進等に関する要望活動

北部地方振興事務所 栗原地域事務所

【24日(月)】

宮城北部流域森林・林業活性化センター栗原支部主催の木材利用に係る栗原市長への要望活動の支援を行いました。

市長からは、今後建設する公共施設へ市産材を利用したいとの回答がありました。

今後も公共施設の他にも選挙ポスター用掲示板等での木材利用について、引き続き情報提供を継続し、木材利用の拡大を働き掛けていく予定です。

なお、要望活動はこれまでも継続して行ってきましたが、その成果として、栗原市産材



【栗原市長への要望活動】

を利用した市公共施設（幼保複合施設）が令和3年度内に完成する見込みです。

「林業振興関係行政事務のフォローアップ研修」の実施

北部地方振興事務所 栗原地域事務所

【28日(金)】

昨年11月に実施した「林業振興関係行政事務のすすめ方に関する研修」では、林業・木材産業関係補助事業における事務手続等について研修を行いました。今回、高性能林業機械の導入要望が採択される見込みとなったことから、当該事業体に対し、事業計画書の作成支援を改めて行いました。

計画書は、事務取扱要領等に基づき作成しますが、専門用語が多く記載事項等が不明瞭との意見があったため、具体的な記載例等を示すとともに、事業体の経営状況に応じた目標値を設定するなど、丁寧な指導を心がけました。

なお、補助事業を実施予定の他の事業体に対しても、改めて計画書の作成指導を行うなど、スムーズな行政事務手続を行えるよう支援を行いました。



【経営状況に応じた目標値を検討】

株式会社山大の社内研修会で講義

東部地方振興事務所

【20日(木)】

株式会社山大の社内研修会の講師を依頼されたことから、当所から「木材住宅関係の補助事業」及び「社有林の現況及び適正な森林整備」について、県庁から「宮城県の建築物における木材利用の促進に関する方針」について講義を行いました。その後、木材・住宅関係補助事業の実績、住宅需要の実情及び各市町の公共施設建設予定箇所を共有しました。

社有林の整備は、計画的な施業により適正に管理されていたので、引き続き適正な管理がされるよう連携を強化します。また、苗木生産に関心があったので、必要に応じた支援を行います。



【研修状況】

「週末林業家育成塾」の森優真氏を訪問

東部地方振興事務所

【27日(木)】

石巻産業創造(株)六次化・地産地消推進センターのコーディネーターである森優真氏は、来年度から森林・林業に関するビジネスに本格的に取り組んでいく貴重な人材として、地方振興部から紹介を得て訪問しました。

森氏は、神奈川県出身で震災を機にボランティア活動を通して数年前に石巻市に移住し、「週末林業家育成塾」を開塾し、安全な伐倒方法や森林管理など林業に興味のある者に教えており、受講者は地元住民や大学生。

伐採に関する指導は、水平切りの反復練習や伐採方向の論理的な検証等を行うなど丁寧な指導を行っています。

主な活動フィールドは牡鹿半島で、伐倒技術指導、ニホンジカの有効活用、間伐材活用の魚礁づくり、カキ殻の活用など様々な取組を行っており、将来的に高校生を対象とした森林教育や伐採から販売までの林業の里山ビジネスを考えている人材であることから、事務所としても林業の情報提供や活動のPR等を図るなど支援を行っていきます。



【活動フィールド確認】



佐沼中学校キャリアセミナー

東部地方振興事務所 登米地域事務所

【14日(金)】

様々な職種の人との出会いを通じて、生徒個々に対して将来を考えるための手がかりや社会に出るにあたっての基本的な姿勢を学ばせることを目的に開催されたキャリアセミナーに講師として参加し、森林や林業に関わる仕事の内容について伝えました。

森林・林業に関わる仕事をする人に対する中学生のイメージは「木こり」でしたが、実際に現場で木を伐採する仕事のほかに、県や市町村の職員として、森林の使い方を計画したり、森林整備や森林保護を進める仕事があることを説明して理解してもらいました。

生徒が記入した受講票にも、セミナーを受講して森林や林業の仕事に関心を持ったという内容のものが多くありました。



【講師は木こりだと思っていたのに・・・】

森林経営管理制度に関する打合せ

気仙沼地方振興事務所

【28日(金)】

気仙沼市が主催し、森林組合、地域林政アドバイザー、当事務所を参集して毎月行っている標記制度の定例打合せ会が開催され、月立北部地区における集積計画策定作業の年度内完了を目指すことになりました。

今後は、個別打合せを実施した際に理解が得られた森林所有者から同意書を取得するとともに、これまで無回答となっている森林所有者への対応、集積計画と足並みを揃えて進めることになった森林経営計画の策定作業等への取組みについて引き続き各関係機関と連携して制度の推進に向けた支援を行っていきます。



【集積計画の策定作業も大詰め】

トレーニングメニューのデモンストレーションを支援

林業技術総合センター

【5日(水)】

公益財団法人みやぎ林業活性化基金宮城県林業労働力確保支援センターが、26名の参加者を募りForestry Safety Research LLP代表を務める水野 雅夫氏(伐倒練習機を開発)を講師に招き、標記デモンストレーション(研修メニューの紹介)を開催したので、研修生ほかを支援しました。

チェーンソーの試技において、下降斜面に正対し、しゃがんだ姿勢をとった際、アキレス腱を伸展し膝を前に出すことが出来ず、空気椅子状態となり、他の3名の研修生役に比べ出来高で大きく後れを取りましたが、自分の技能に満足することなく、努力を重ねる必要性を学ぶ良い機会となりました。今後も、林業労働安全衛生の推進に関するこのような取組を支援していきます。



【開催状況】

みやぎ森林・林業未来創造カレッジ研修先進課題研修（スマート林業・林業DX推進講座）の開催

林業技術総合センター

【14日（金）】

林業技術総合センター（大衡村）において、みやぎ森林・林業未来創造カレッジ研修先進課題研修（スマート林業・林業DX推進講座）第5回目を開催し、3名の受講生に参加いただきました。

今回は、デジタルマネジメントシステム構築の基本となる考え方と林業分野における展開の現状及び課題を再整理し、ワークショップ形式でシステム構築の基本となるフレームワークの基本的な思考方法を習得しました。

今後も受講生との意見交換を実施し、ニーズに合った研修を展開していきます。



【粘土を触りながらのワークショップ】

令和3年度林業普及指導活動成果発表会の開催

林業技術総合センター

【21日（金）】

当所研修棟において新型コロナウイルス対策を徹底し、圏域を代表し7名の発表者と5名の審査員（外部3名）及び34名の聴講者を得て標記発表会を競技会形式で開催しました。

発表内容は特用林産物の販売、森林経営管理制度及び病虫獣害対策の推進についてでした。会場では、作業員の雇用について、GAP指導員による指導の継続性如何、荒廃農地の利活用方法の森林限定への疑問及び生分解性資材の利用年限などについて活発な質疑が行われました。入賞者は、全国森林計画研究発表大会、森林・林業技術交流発表会及び林業普及指導員シンポジウム東北・北海道ブロック大会に推薦される予定です。健闘を祈ります。

今後も林業普及指導員の資質の向上に向け関係発表会を開催します。



【入賞した3名】

みやぎ森林・林業未来創造カレッジ研修森林ビジネスコース（育林ビジネス講座）の開催

林業技術総合センター

【27日(木), 28日(金)】

林業技術総合センター（大衡村）にて，みやぎ森林・林業未来創造カレッジ研修森林ビジネスコース（育林ビジネス講座）第7回目～第8回目を開催し，5名の受講生にご参加いただきました。

今回は，事業地確保から事業実施，安全対策，精算までの流れ，育林ビジネスの採算性及びビジネスモデルについて，県内先進事業者による研修を実施しました。また，起業方法，経営のポイントに関する実業研究をしました。今後も受講生との意見交換を実施し，ニーズに合った研修を展開していきます。



【県内事業者を講師とした研修】